

平成25年度 第2回国有林モニターアンケートの結果概要

四国森林管理局では、より一層「国民の森林」に相応しい国有林の管理経営を推進するため、地域の皆様に国有林モニターをお願いし、ご意見をいただくこととしております。

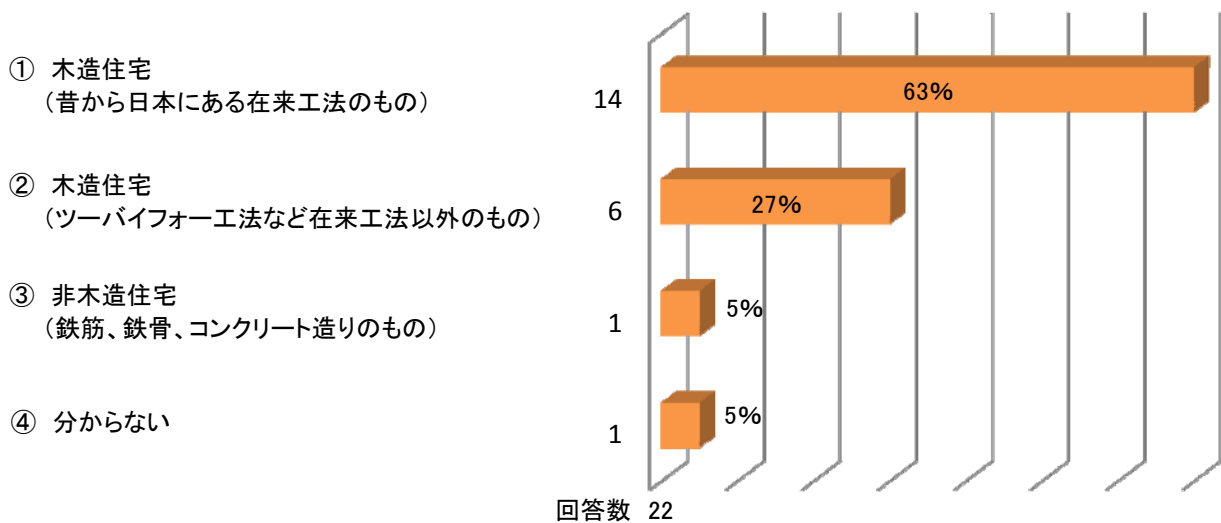
今回は「木材の利用について」を中心に、国有林モニターの皆様にアンケートにご協力いただきましたので、その結果概要をご紹介します。

アンケートの結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めていく上での貴重なご意見として参考とさせていただきます。アンケートにご協力いただいた国有林モニターの皆様、ありがとうございました。

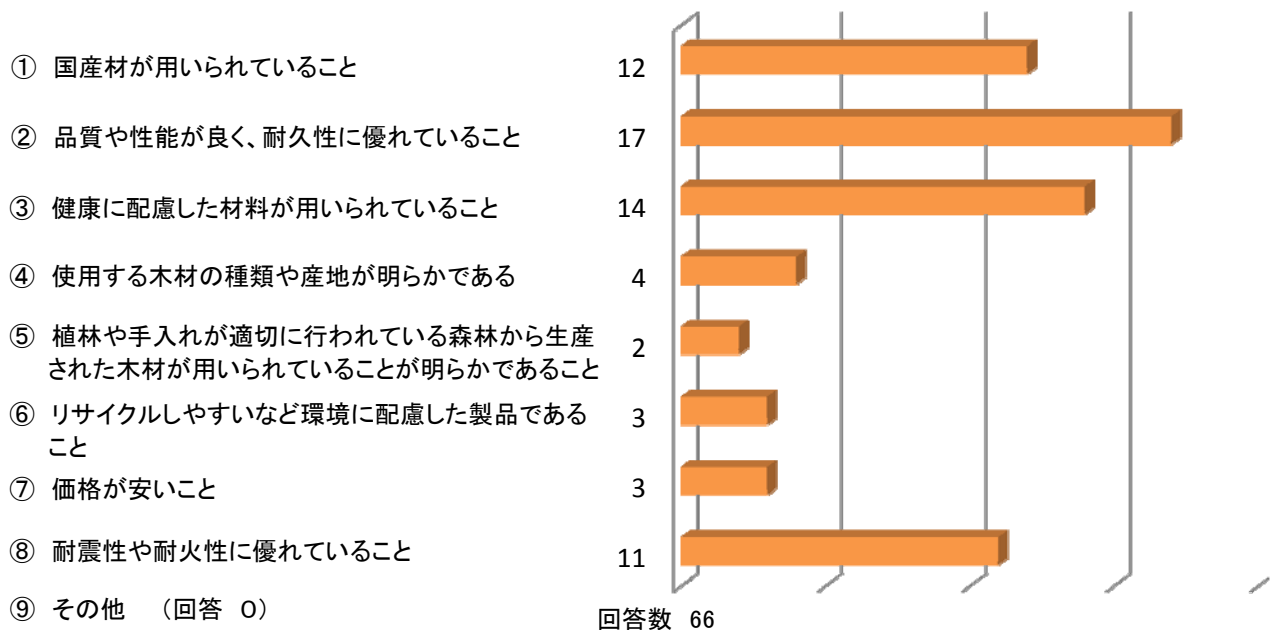
○ 回答者数 モニター26名中 22名から回答がありました。

I 木材の利用について

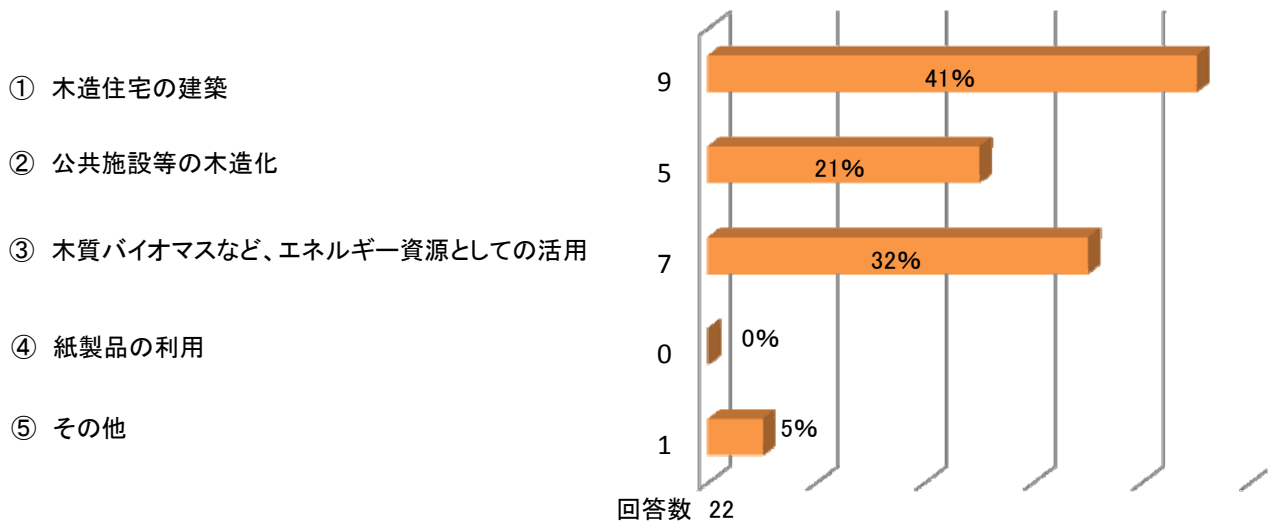
問1. あなたが今後、新たに住宅を建てたり、買ったりする場合、どんな住宅を選びたいと思いますか。



問2. 仮に、木材を利用した住宅を選ぶ時は、どのようなことを特に重視しますか。(3つまで選んで下さい。)



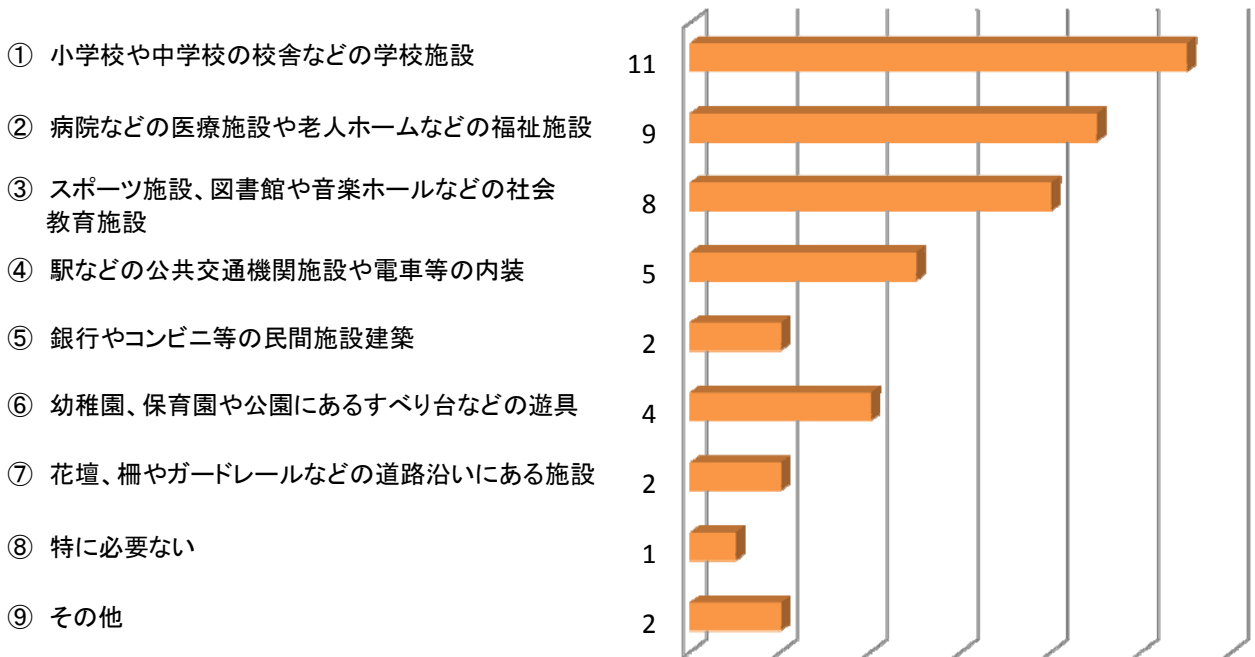
問3. 資源である国産材の利用を進めるために、どのような分野に期待しますか。



問4. 国や自治体では、公共の施設や設備等への木材利用を推進しています。

(平成22年に「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行。)

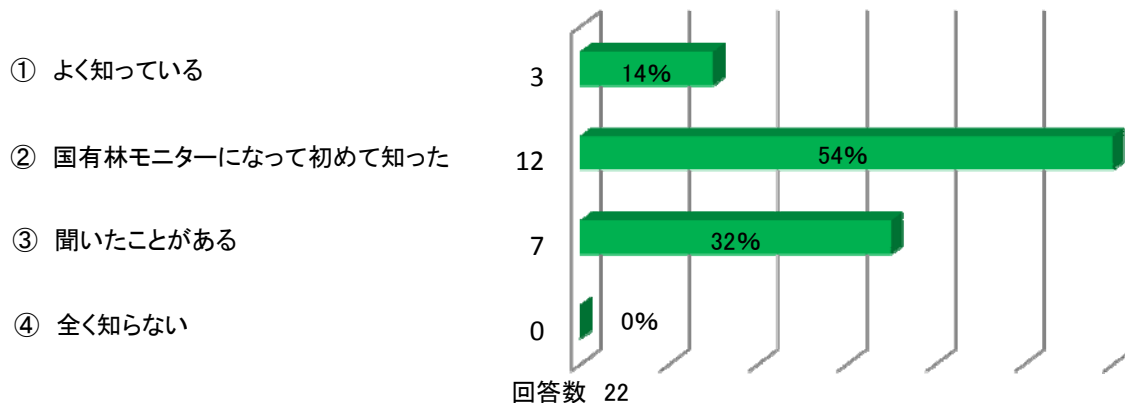
あなたは今後、どのような施設に木材を利用していくことが望ましいと思いますか。(2つまで選んで下さい。)



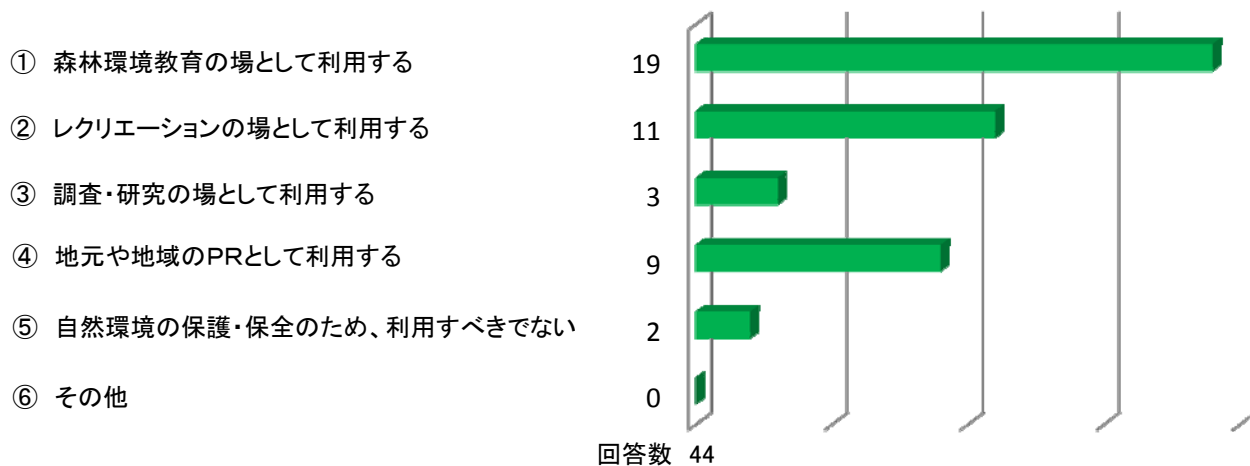
(その他の意見: 公共施設で環境にやさしいということを前提にすれば、①～⑦全て)

II 森林の保護と利用について

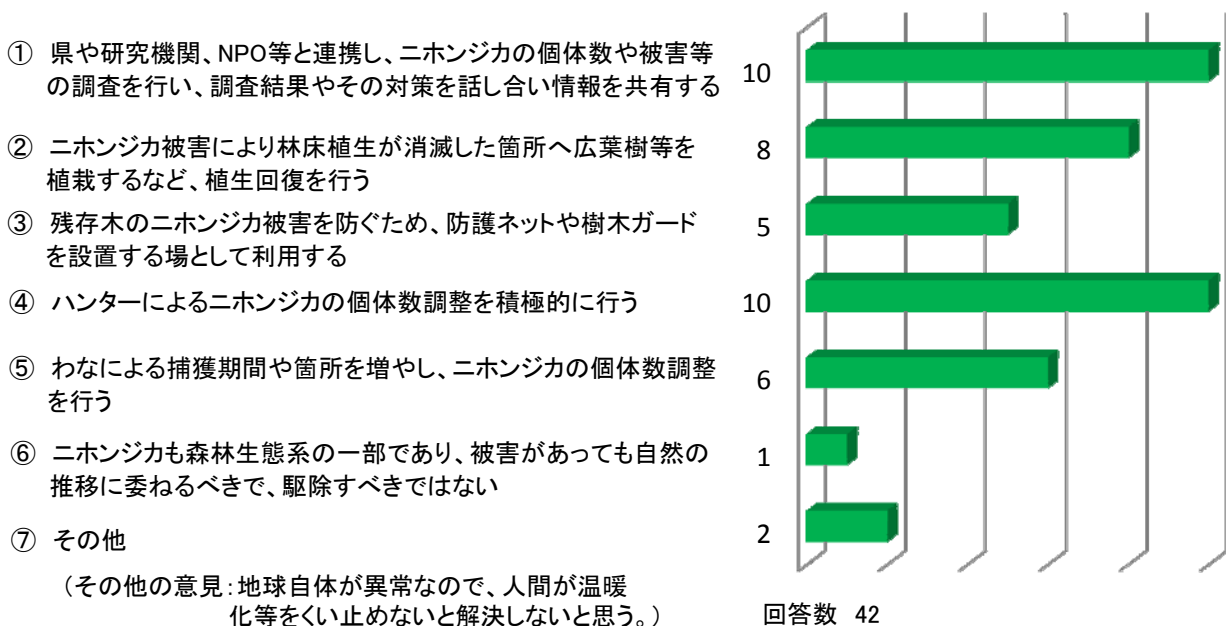
問5. あなたは、「保護林」という言葉を知っていますか。



問6. あなたは今後、保護林を利用するとすれば、どのような利用を進めていくべきだと思いますか。
(2つまで選んで下さい。)



問7. 近年、ニホンジカによる森林や農作物への被害が問題となっていますが、この対策として特にどのような取組を重点的に推進すべきと考えますか。(四国森林管理局においては、対策として、植生回復の取組やシカの侵入を防ぐための防護柵設置、囲いわなの技術開発などを行っています。)(2つまで選んで下さい。)



Ⅲ その他

問8. 国有林モニター資料、HP掲載資料等で面白かったもの、分かりにくかったものを教えてください。
(2つまで選んで下さい。)

	面白かったもの	分かりにくい
モニターだより	5	4
グリーン四国	10	2
森からのおくりもの	7	3
四国森林管理局事業概要	0	10
「四国山地緑の回廊」	5	1
「四国の保護林」	4	0
「ぐりーんもあ」	5	3
その他	0	0

回答数 36 回答数 23

問9. これまでのモニター活動で、森林・木材・国有林等に対する考え方が、変わったことが有りましたら教えてください。

- モニター勉強会等で、改めて木材利用(安定的供給を含めて)の重要性を感じました。
- 国有林の役割、一般的な森林と言われるものとの違いがわかった。
- 資料を読んだりしていろいろ知識を得て、森林の大切さというものがわかった。また、周りの森林に関心が湧くようになった。
- 木に対する考え方、大事にしようというキッカケになった。四国の森林の状況も知りたかったので良かった。
- 地味な活動で、長い期間の展望(何世代も)が必要だと痛感した。
- 日本では宅地開発などで山林が減り、国産材の供給が減少しているのではないかと思っていたが、実は国産材の利用を促進していかなければいけないことがわかった。自分が家を建てる時には、ぜひ四国の木材を使用した木造住宅を建てたいと思う。
- 自然環境の保護から木材の利用まで幅広く活動されていることが、大変良くわかった。
- 森林などについて、勉強させていただき、興味が湧き、また、素晴らしいこの四国の森をいかに大切に、これから受け継いでいかなければと思う。
- 国有林の仕事の内容がいろいろ多いと思うと同時に、後世に残す重要な仕事と感じた。

その他ご意見・ご要望

(主な意見)

- 木工教室や森の大切さを教える教室はタメになると思うが、今、森林の抱えている問題等の現状を子供達に教えていくべき(生活していく中で、どのような事に気をつければよいか等含め)。
- 本当の意味で「森を守る」ということは、政治の力で、法律を変えていかないと良い方向へは進まないと思う。
- 森林鉄道の歴史をもっと多くの人に知って欲しい。
- モニターの知る知識を多くの人々に情報として広めていけたら良いと思う。